

# 最新お墓用語事典

あ～さ

**あ** あらめ荒田

粒子による分類の中で、粒子の一番粗いもの。

あんざんがら 安山岩

ひと昔前までの墓石材の代表的存在。

国内の分布は広く、種類も多い。節理にそって採石しやすいのが特色。

いしわり石割り

矢や楔(くさび)などを用いて原石を切断すること。

うきぼり浮き彫り

模様部分を凸面になるように彫り上げる彫刻。

おかカロート 陸カロート

地上納骨室。

おがみいし 拝み石

花立てや香炉台の前などに使われる平たい台石のこと。

オルガン型

洋型墓石の中で最もポピュラーなカタチ。

**か** かいげんしき 開眼式

新しくお墓を建てたり、お墓を移転した時に、行う納骨法要。お墓に魂を入れるので、入魂式とも呼ぶ。

がいさく 外柵

墓地の周辺を囲む柵。

カロート

骨を納める場所。納骨棺。一般に墓石の下に埋めこまれる。

きょうかいせき 境界石

近隣の墓地との境界を明らかにするために、自分の墓地の周囲を囲む石。外柵。

けんち 間知

土留め、護岸等に用いる石材。

こうじき 香食

仏の世界に入ったものは香りしか食べないといわれる。お墓参りの際などの線香にはこの意味と、不浄を払うという意味がある。

**さ** さい切、才

石材の容量単位。一切＝一立方尺。

一立方メートル＝三六切として計算。

さいすつ 切数

切は石材の容量単位。切数は数量を表す。

さいめ 細目

石材の粒子による分類のひとつ。最もキメの細かいもの。

じぞうぼ 地藏墓

幼くして亡くなった子供を祀る。昔から地藏菩薩(じぞうぼさつ)は、小さな子供に救済の手をさしのべるといふ信仰がある。

じゅりょう 寿陵

生前に建てるお墓。寿蔵、寿堂などともいう。

そとつば 卒塔婆

墓に立てる札。五輪塔の省略化したもの。



全優石加盟店  
**国松石材店**

〒525-0032 滋賀県草津市大路1丁目2-28  
TEL 077-562-2054 FAX 077-566-3511

# 最新お墓用語事典

た～わ

**た** だいらせき 大理石

変成岩。中国雲南省の大理府で産出したためこの名がある。

とびいし 飛び石

庭、墓地に用いられる敷石。

**な** なでつは 撫付

和型墓石の頭部分のひとつの型。

ねこあし 猫脚

墓石、石塔の一部で猫の足のように四本の足がついた石。

のべいし 延べ石

長く細い石。

**は** はちまんがた 八幡形

代表的な鳥居の型。笠木・島木・貫・桂および台石から成っている。

びしゃん

石材の表面を細かくたたき仕上げに使う道具。

へいがんしき 閉眼式

開眼式とは逆に、古い墓を処分したり、移したりする時に行う。抜魂式ともいう。

ぼだいじ 菩提寺

先祖代々、帰依しているお寺。位牌をおさめ、法要などの仏事を営んでもらう。

ほんみがき 本磨き

石の表面にツヤがでるよう、砥石、研磨などで磨き上げること。

**ま** みかば 御影

花こう岩の別名。神戸市御影地方が古くから花こう岩の産地であることからこの名がある。

めおとばか 夫婦墓

夫婦合葬のお墓。比翼塚(ひよくづか)ともいう。

**や** やくもの 役物

特殊な形に加工したものの。石工(いしく)が手作りでありあがる加工法。あるいはその製品。

ようがた 洋型

和型に対して用いられる墓石のタイプ。西洋型。

**ら** らいち 霊地

霊園、墓地が任意に定めた区画の単位。「聖地」というものもある。

れんげ 蓮華

墓石、灯籠などの一部。蓮華の形をしている。

**わ** わがた 和型

洋型に対して使われる墓石のタイプ。日本独自の三段積み型の型をさす。

われはだ 割肌

石肌がラフな状態になっているもの。



全優石加盟店  
**国松石材店**

〒525-0032 滋賀県草津市大路1丁目2-28  
TEL 077-562-2054 FAX 077-566-3511